皮革産業発祥の地　姫路

姫路における皮革産業の歴史は古く、弥生時代後期に朝鮮からなめし技術が伝わり発展してきたという朝鮮伝来説や聖翁授説、出雲国由来伝説などの言い伝えがあります。

(1)朝鮮伝来説

地元では最もよく知られているもので、神功皇后三韓征伐の折の捕虜で熟皮術に長けるものがあり、但馬の円山川で試み、南下して市川で成功し、村人にその技術を伝えたという説。

(2)聖(ひじり)翁授説

その昔、松ヶ瀬(高木の古称という)の椋の巨木の下に住む博識の老人より学び、製革を始めたという。この老人を聖翁と尊称し、それが地区で祀っている聖神社の祭神といわれる説。

(3)出雲国由来伝説

製革の起源を神功皇后時代にあると認める一方で、元禄時代出雲国古志村の革商が大阪木津川で試みたが成功せず、市川で良品を得て、越革として世に出して名声をなしたという説。

実際にはこれらの伝説が混合したような形で語り伝えられています。

姫路における皮革の生産量は現在、国内の成牛革の約2割、中牛革の約4割、小牛革の約3割、馬革の約8割を占めています。

また、世界最大の皮革見本市「APLF2014」において、姫路の革が世界の頂点を極めるなど、その品質は非常に高く評価されています。

【皮革産業発祥の地と成り得た5ポイント】

① 穏やかな流水と広い河原である市川が流れている地域であった。
② 西日本には多くの牛が飼育されており、牛皮の入手が容易な地域であった。
③ 革の天日干しに適した比較的温暖で雨も少ない地域であった。
④ 皮の保存と処理に必要な塩の産地(赤穂)に近い地域であった。
⑤ 大阪・京都などの政治・経済・消費の中心地に近い地域であった。

「姫路の皮革」のロゴマーク

姫路の「なめし革」や「皮革製品」を広くアピールしていき、皮革製品の需要拡大、さらには皮革産業の活性化を図っていきたいと考えています。

「姫路」「皮革」をあらわす「H」と、姫路市の市鳥である「シラサギ」の翼を合体させたイメージです。

シラサギの翼に姫路を乗せて羽ばたき、さらに上へと運んでいく、というコンセプト。さらにシラサギの翼に水面のさざなみのイメージを加え、自然の豊かさを強調しています。

革のできるまで

1 原皮の水荒い

原皮に付着している汚物を取り除く。
汚れた水は処理をして、きれいな水にしてから外へ流す。

2 脱毛石灰漬

石灰に漬けて皮をふくらませ、毛を毛根から抜き取る。
毛をぬき取った面(銀面)が皮の表面になる。

3 分割(スプリッティング)

分割機(スプリッティング)を用いて製造する用途(靴用、かばん用、衣服用など)に応じて、皮を任意の厚みに分割する。

4 なめし

クロムなめし、タンニンなめしなどの方法で皮にいろいろな耐久性を持たせる。

5 背割り

牛、馬など大きな革では、作業がしやすいように1頭分の革を背筋に沿って半分に分ける。

6 シェービング(裏削り)

革製品の用途に応じて革を削って、最終的な厚みにする。

7 再なめし・加脂・染色

革のやわらかさなどを調整しながら染色する。

8 ガラス張乾燥・真空乾燥

網、金属板などに革を伸ばしながら張って乾燥する。

9 塗装作業(機械・手塗り・スプレー)

スプレーや手塗りで、まず着色。その後希望の色に合わせるため、スプレーで最終的な調整をする。

10 物性試験・外観検査

革の色、強さ、やわらかさなど、すべての品質を検査する。

11 梱包・発送

革が汚れないように荷造りして発送する。

革の基礎知識

皮から革へ

動物を食肉加工する際の副産物として生まれる「皮」は、なめしという工程を経て「革」となります。なめしとは、動物の皮を腐敗しないように加工する作業のことです。革を柔らかくすると書いて「鞣(なめし)」。このなめしは、「皮」を「革」にするために最も重要な作業です。　※動物の「皮」　⇒　なめし(加工技術)　⇒　素材の「革」

クロムなめし

塩基性硫酸クロムのなめし剤を使う方法。高い耐熱性と弾性があり、傷つきにくく丈夫で、新品の状態を保つことが可能。1～5日の短期間でなめすことができ、他のなめしとの組み合わせも可能で、さまざまなタイプの革が生み出せる。また、優れた耐熱性、染色性、弾力性をもった革が得られるため、製品用途は幅広い。

タンニンなめし

樹皮や果実から抽出したタンニン(渋)を使ってなめす方法。最近では科学的に合成されたタンニンもあるため、植物由来のタンニンを使う場合は、植物タンニンと区別することもある。革の仕上がりが自然で、硬くて丈夫。長く使用するうちに肌になじみ、色に深みが増すなどの特徴をもつ。じっくりなめすため、2週間から数ヶ月の工程になる。

タンナー

タンナー製革業者または皮革製造に携わる人のこと。皮を鞣す(なめす)という英語のtanに由来する。近年は製革業者というより、タンナーという言葉がよく使われている。「皮革」という文字は「皮」と「革」という二つの「かわ」と読む漢字が並んでいるが、なめす前の状態のものを「皮」、なめした後の状態のものを「革」と書き区別している。皮をなめす工程を行うのがタンナーである。

【牛　革】

あらゆる皮革の中で、もっとも用途が広いのは牛革です。姫路でも、牛革による革製品が各種にわたり作られています。原皮には、産地、性別、年齢によって品質に差があり、次のように分けられます。

カーフ… 生後6カ月以内の子牛の革。滑らかで柔らかくキメ細かいのが特徴。牛革の高級品。なかでも生後3カ月以内のベビーカーフは最高級品。
キップ… 生後6カ月から2年までの牛の革。カーフに比べると柔らかさは劣るが、厚みがあって強度が高い。
ステア… 生後2年以上で、生後3カ月から6カ月以内に去勢された雄牛の革。銀面(表面)のキメが細かく柔らかいが、雌牛に比べ厚みとハリがある。
カ　ウ… 生後2年以上の雌牛の革。キップより厚みと強度がある。ステアと比べると、より柔らかくキメ細かいが、強度は劣る。
ブ　ル… 生後3年以上の雄牛の革。厚手になり、繊維組織の粗さが目立つ。
地　生… 国内産の牛は生皮のままで取引されたところから、地生(ヂナマ)と呼ばれる。大きさは北米産とほぼ同じだが、国外のものより銀面に傷がなくきれい。

【馬　革】

繊維組織が粗い為、牛に比べると強度が落ちるが柔軟性に優れている。一般的なホースレザーの他に、臀部を使ったコードバンがあり、美しい輝き、強さとしなやかさから革のダイヤモンドと称される。

【鹿　革】

非常に柔軟で手触りも良く、何よりも耐水性に優れていることが特徴。柔らかくしなやかなセーム革と称されている。

【オーストリッチ】

ダチョウの革は、羽根を抜いた痕が最大の特徴。強靭で重厚さがあり、柔軟性にも富んでおり、高級素材として使用される。

皮革製品が購入できるイベント

姫路城皮革フェスティバル

開催時期：毎年11月上旬
場　　所：大手前公園
主　　催：姫路皮革製品推進協議会
問合せ先：079-221-2513(姫路市産業振興課)

11月3日の「いいレザーの日」を中心に、その前後の5日間、姫路の皮革産業を広くPRするイベントとして毎年開催されています。地元事業者による革製品等の販売ブースがズラリと並び、かばん、小物、一枚革など、高品質な天然皮革製品の展示販売やレザークラフト体験教室などが行われます。

皮革フェア

開催時期：毎年3月上旬
場　　所：西御着総合センター、上鈴総合センター、
　　　　　中鈴総合センター、見野の郷交流館
主　　催：皮革フェア実行委員会・姫路市
問合せ先：079-252-6659(見野の郷交流館)

姫路市の御着・四郷地区の地場産業である皮革産業の理解と宣伝普及および各総合センターを広く知っていただき、参加者と地域住民との交流を図る目的で開催しています。4会場では、皮革製品の展示即売や体験教室などさまざまな皮革関連の催し物が行われます。各会場を巡るマイクロバスも運行します。

革の市

開催時期：毎月第1日曜日　10時～16時
場　　所：レザータウン 革の里
主　　催：革の市事務局
問合せ先：079-253-7115(革の里)

皮革産業発祥の地である高木地区で定期的に開催しています。手作り皮革製品(鞄、靴、小物)やレザークラフト、革細工を趣味とされるかた向けの革素材、工具などの副資材を販売。1点もののタンナー直売皮革も多数展示販売されます。

姫路・たつの じばさん皮革まつり

開催時期：毎年9月上旬もしくは中旬
場　　所：姫路駅北にぎわい交流広場　中央地下通路(JR姫路駅北側)
主　　催：兵庫県皮革産業協同組合連合会
問合せ先：079-285-3872(同上)

日本有数の皮革産地「姫路」と「たつの」の革製品がずらりと並ぶイベント。天然皮革素材やかばん、靴、財布などの製品を見て、触れて、購入することができます。革細工の体験コーナーもあります。

革細工体験作品

ひょうご皮革総合フェア

開催時期：毎年11月中旬
場　　所：たつの市総合文化会館 赤とんぼ文化ホール
主　　催：兵庫県・たつの市・兵庫県皮革産業協同組合連合会
　　　　　たつの市皮革産業総合推進協議会
問合せ先：079-285-3872(兵庫県皮革産業協同組合連合会)

ベストレザーニストに選ばれた芸能人のトークショーや、ひょうごニューレザーコンテスト入賞者の表彰式と作品展示に加え、県立高校生等によるレザーファッションショーなどが行われます。産地メーカー直販の即売会や革細工体験教室などもあります。

レザーファッションショー

メーカー直販即売会

HIMEJI LEATHER GUIDE & MAP

WORLD QUALITY

世界が認めた
姫路ブランド

レザータウン 革の里

〒671-0255　姫路市花田町小川1180-1　ポケットパーク花田内
TEL. 079-253-7115 FAX. 079-252-6422
営業時間　10：00～17：00
定休日　月曜日、年末年始
http://kawanosato.com
mail / lt.takagi@movie.ocn.ne.jp

革の里　検索

「レザータウン・革の里」は、皮革産業発祥の地である高木地区に平成19年(2007)に開設された皮革のアンテナショップです。

店内には牛・馬の色とりどりの「なめし革」生地を常時100枚以上展示販売。革ハギレなどレザークラフト、革細工を趣味とされる人向けの材料としての革素材、工具などの副資材も販売しています。皮革の産地ならではの安価で高品質なカバン・靴・ベルト・財布等の革製品もあり、お値打ち品にめぐり合えるかも。また、高木・御着・四郷地区の皮革産業の窓口として、工場見学の受付・手配から相談まで対応しています。

毎月第1日曜日に開催している「革の市」では革の里会員各社が集まり店内外で販売ブースがズラリと並びます(イベント情報参照)。毎月第3日曜日には動物や小物、袋物など革細工の体験ができる「レザークラフト体験」や本格的に技術が学べる「レザークラフト教室」を実施しています。

●高木地区タンナー各社の製品が革の里で購入できるのも魅力です(下記参照)。まずはお気軽に問合せを。

レザークラフト体験

[開催日]
毎月第3日曜日
10：00～16：00の間で随時
(所要時間60分程度)※要予約
[体験料]
無料(500～1000円程度の材料費は別途要)

レザークラフト教室

●キットを使ったやさしいクラフト New
[開講日]※2017年4月開講
毎月第1・3木曜日
13：00～15：00

●手縫いスクール
[開講日]
毎月第2・4木曜日、第4土曜日
13：00～16：00

●レザースクール
[開講日]
毎週火・水曜日19：00～21：00
毎週水曜日15：00～17：00
[受講料]
月謝制(材料費は自己負担)

※生徒数等により、日時に変更がある場合があります。詳細は問合せを。

革の里取り扱い一覧

●新喜皮革	姫路市花田町小川1166-2	☎079-224-8136	http://shinki-hikaku.jp
●金俊製革所	姫路市花田町高木346	☎079-222-3560	
●大昌工房	姫路市花田町高木110	☎079-285-3147	http://www.daisho-horse.jp
●花北レザー	姫路市花田町高木470-1	☎079-282-3088	http://cyber-holic.com/leather
●レザークラフト福本	姫路市花田町高木61	☎079-284-1600	
●協伸	姫路市花田町高木30-1	☎079-281-2624	http://www.kyohshin.net
●大喜皮革	姫路市花田町高木280	☎079-282-0055	http://www.daiki-hikaku.jp
●アルファレザー	姫路市花田町高木280	☎079-282-3859	
●大栄	姫路市花田町高木129	☎079-224-2631	
●カドヤ商店	姫路市花田町高木104	☎079-225-3366	http://www.umakawa.com
●アークレザージャパン	姫路市花田町高木字山溝筋210	☎079-223-3740	https://www.facebook.com/arcleatherjapan
●大崎商店	姫路市花田町高木291-1	☎079-224-0022	(順不同)

ハンドメイド 革工房 BAIMO バイモ

ショップ＆アトリエ

〒670-0962
兵庫県姫路市南駅前町123
じばさんビル1F
TEL&FAX/079-281-6151
営業時間　10：00～19：00
定休日　不定休
http://www.baimo.net
mail / info@baimo.net

革工房BAIMO　検索

革工房BAIMOは平成18年(2006)、姫路市の支援のもと、皮革縫製技術者の養成および姫路市内での独立開業に向けた取り組みを進めるため設置されたチャレンジ工房です。

革は姫路産天然皮革のみを使い、独立開業を目指すクリエーター達が共同運営。スタッフそれぞれが個性あふれるものづくりに取り組んでいます。

工房では"BAIMO"共通ブランドのほか、各自が自分のオリジナルブランドを立ち上げ、バッグやポーチをはじめ、財布、名刺入れ、キーホルダーやブレスレットなどの革小物の製作や販売にあたっています。JR姫路駅南口スグの「じばさんビル」1階とアクセスも便利なので、気軽に立ち寄ってみてはいかが。

革工房BAIMOでは、
共同運営スタッフを随時募集しています。

革製品のデザインや加工などに興味のある方は問合せを。

＜問合せ先＞
TEL／079-281-6151　mail／info@baimo.net

工房長：森下いづみさん

BAIMO(バイモ)というのは花の名前で、別名アミガサユリ(編笠百合)ともいわれています。私たちは皮革製品の縫製技術を磨くことはもとより、常に謙虚な気持ちを持ってお客様と向き合い、常にお客様に喜んでいただける心のこもった製品づくりに努めています。

＜BAIMOブランド＞

Bシリーズ

「シンプルなデザインで革本来の風合いを楽しむ」をコンセプトに、スマホケースや鞄など、革工房BAIMOの頭文字「B」を取って、ブランド化を目指したラインナップ。

雨音 -ЯAIN-
by 宮里潤一

Wish Born
by 中野義夫

fait main(フェマン)
by 中野幸恵

BAIMO発 クリエーターたちの工房

M's FACTORY(エムズファクトリー)

コインケースやポーチなど、初めての方も2時間で楽しくオリジナルグッズが完成する体験教室を開催しています(材料費込み1人4,000円)。また、オーダーメイドレザーアイテムの製作も受け付け中!

〒671-2124　姫路市夢前町玉田273-2
TEL.079-335-3811
[営]10：00～20：00　[休]火曜日
http://www.ms-leatherschool.com

人生を共に刻む、素敵な革製品との出会いを、ぜひM's FACTORYで…。

代表：小田 雅也
(BAIMO初代工房長)

Unite(ユナイト)

姫革を使った豊富なカラーバリエーションとシンプルなデザインの革鞄、革小物のファクトリーショップです。

〒671-0256
姫路市花田町高木381-1
TEL.079-227-6192
[営]10：00～18：30
[休]月曜日
http://unite-jp.net

製作風景や姫革製品を実際に手に取ってみていただけます。お気軽にお立ち寄りください!

代表：伊藤由紀子

姫　兎(ひめうさぎ)

BAIMOを卒業した職人のかわいい革小物を多数取り揃えています。オリジナルデザインの革がま口(小銭入れからリュックまで)が人気!

〒670-0901
姫路市西二階町108(西二階町商店街)
TEL.079-282-9921
[営]11：00～17：00　[休]月曜日
http://himeusagi.cutegirl.jp
※ワークショップの日程はHPで確認を

姫革のネームタグや折り鶴の製作体験いかがですか。いつでもOKです!

代表：山下ひさこ

OHANA SHOES FACTORY

靴工場にある週1日ファクトリーショップ。靴はもちろん、バッグや小物など「こだわりのものづくり」の商品を展開しています。

〒671-0244 姫路市四郷町見野888
マツオカ工場内
mail/ohana-shoes-factory@ares.eonet.ne.jp
[営]11：00～17：00　[営業日]水曜日

OHANA SHOES FACTORY

いろいろな作家作品などを販売しています。詳しくはfacebookで!

代表：瀧本武

千五百年の歴史と伝統
世界で愛され称賛される
姫路の皮革

姫路市産業振興課
〒670-8501　姫路市安田四丁目1番地
TEL.079-221-2513　FAX.079-221-2508
URL　http://www.city.himeji.lg.jp

■姫高皮革事業協同組合
〒671-0256　姫路市花田町高木219　TEL079-282-0852
■御着四郷皮革協同組合
〒671-0233　姫路市御国野町西御着545-1 TEL079-253-5834